



委員会等活動成果

国際関係委員会 欧州調査部会

“The Actuary”の記事紹介

Pick Up

英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2005年7月号から

2005年11月28日

英国アクチュアリー会の会員向けアンケート調査 Membership survey 2005

英国アクチュアリー会が会員を対象に実施したサービスに関するアンケート調査の結果が判明した。

1. アンケート調査とその背景

英国アクチュアリー会はその長期的な計画（Corporate Plan）の中で、①高度な実務基準の設定・実施②継続的な教育システムの開発・維持③会員数の増加の達成④アクチュアリー技能の旗手となること（知識と研究の向上・共有）⑤会員に対するサポートの向上、を戦略的優先事項として掲げている。

特に5番目の「会員に対するサポートの向上」のために、内部関係委員会（Internal Relations Committee 以下、IRC）を設立し、双方向のコミュニケーションの充実を目指している。

The Actuary 誌7月号は、2005年4月にIRCが会員を対象に実施した、英国アクチュアリー会が提供している各種サービスに関するオンライン調査結果についての記事を掲載している。アンケート対象は英国内および海外における会員16,000人で、回答数は1,700以上（男性：77%、女性：23%）、海外からの回答が24%を占めた。

この調査は、各サービスの使用頻度と重要性等に関するもので、背景にはアクチュアリー会全体の費用が将来的に増加していくとの予測（※）があり、支出の節約を図りつつ、より有益なサービスへ注力していくための検討材料とするものである。

※ Morris Review により今後強化されるであろう規制に対応するための費用の増加に加え、既存の活動に関しても費用の増加が想定されている。



2. アンケート調査結果

「公認、証明 (Accreditation/certification)」、「アクチュアリー教育 (Actuarial education)」、「技術的ガイダンス (Technical guidance)」、「専門家としての行動規範 (Professional Conduct Standards (PCS))」の4項目が使用頻度、重要性の両面において上位を占めた。一方、最も低いのは「求人情報 (New business/career opportunities)」であった。

これらの他に「倫理基準 (Ethical standards)」、「継続教育 (Continuing Professional Development (CPD))」、「資格証明 (Practising certificates)」、「外部へのプロモーション (Promotion to external bodies)」、「議論のためのフォーラム (Forums for debate)」、「海外メンバーのためのアクセス (Access for overseas members)」、「懲戒 (Discipline)」、「ボランティア (Volunteering)」等のサービス項目があり、会員に対して極めて広範なサービスが提供されていることが見て取れる。

会員が活用している情報源としては、「ウェブサイト」、「広報誌 The Actuary」、「電子ニュース」が上位を占め、「図書関係のサービス」は使用頻度、重要性ともに低くなっている。

改善の余地があるサービスとしては、「試験制度」、「会員への情報提供」、「インターネット、Eメール」があげられていた。これは、回答者の29%が20代以下であり、また30%が研究会員 (Students) であることが一因かもしれない。

調査結果全体からは、教育、公認、倫理基準が重要視されていることがわかり、これらに対して今後、費用対効果に優れたサービスをどのように提供していくかが引き続き検討されることになるだろう。

原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会のHPをご覧ください。

<http://www.the-actuary.org.uk/>

"Membership survey 2005"